

令和5年度 教育経営研修 教育長挨拶

令和5年5月26日（金）
教育研究所2階 第2研修室

皆さん、おはようございます。教育長の細田 眞由美でございます。
令和5年度教育経営研修の開講に当たり、挨拶を申し上げます。

教育経営研修は、学校運営の推進者としての識見を広げ、資質や能力の向上を図り、さいたま市教育を担うリーダー、すなわち将来の管理職の育成を目的としています。研修内容が大幅にリニューアルされた昨年度に続き、今年度も42名と大変多くの方が将来の管理職を目指し、本研修に臨まれますことを心より嬉しく、そして頼もしく思います。

さて、皆さんも御存知のとおり、「チャットGPT」などの生成系AIが、連日メディアに取り上げられています。世界にもたらした衝撃は大きく、各界、各分野でその対応について、手探りの状態が続いています。それは、教育の分野も例外ではありません。生成系AIの登場により、子どもたちの学びや私たち教員の仕事に与えるインパクトは計り知れません。また、その一方で、個人情報や著作権の取り扱いや情報の正確性、そして活用することで、子どもたちの批判的思考力や創造性を伸ばす妨げになるのではないかという課題も懸念されています。

しかし、生成系AIは正しい使い方をすれば、子ども自身が興味のあることや極めたいことを主体的に学ぶツールの一つとして活用できるでしょう。生成系AIが学校の授業や子どもたちの学びに生かされる時期はそう遠くない未来なのかもしれません。

このように、これからの時代を生きる子どもたちにとって、ICTはマストアイテムであり、そのリテラシーを育む学校教育が担う役割は極めて重要であります。一方、学校現場における、ICTの活用には、教職員や学校間の格差が顕在化しており、教育のデジタルトランスフォーメーションには、一層の努力が必要な状況であります。

この現状を踏まえ、さいたま市教育委員会では、令和5年度をポストGIGAスクール構想としてのターゲットイヤーと位置付け、私たちが本気にならなければならない“時”であると考えています。

そこで、私たちは、「シン・GIGAスクール構想」つまり「さいたま市スマートスクールプロジェクト」を立ち上げ、「学び方」「教え方」「働き方」の改革を進めてまいります。

この改革を進めるには、10万人の子どもたちと直接関わる先生方の活躍が不可欠です。そして、その先生方の挑戦を価値付け、戸惑いに寄り添い、変化の中においても進むべき指針を示すことのできるリーダーの存在が求められています。ここにいる42名の先生方には、そのような存在となるべく、この教育経営研修を通して、必要な見識を養ってほしいと願っています。

結びになりますが、本研修への参加について御配慮くださった、校長先生をはじめとする多くの方々に感謝の気持ちを忘れずに、健康に留意し、実りある研修にしてください。

令和五年五月二十六日
さいたま市教育委員会
教育長 細田 眞由美

